



第 1188 回例会報告

平成 22 年 8 月 19 日(木) 晴れ

会長挨拶

会長 長崎政直

終戦の日に想う

毎年、8月になると、太平洋戦争にまつわる報道が、どっと出てきます。また広島、長崎をはじめ靖国神社等々、各地で戦没者追悼の式典が開催されます。終戦の日については、ポツダム宣言受諾を通告した1945年8月14日、玉音放送があった15日、降伏条約に調印した9月2日、サンフランシスコ講和条約の発効した1952年4月28日と様々な説があるようです。

私が戦争について考える時、最初に思うのは、「殺人」という行為です。どこの国、どこの文化においても、どんな宗教においても、「人を殺してはならない」は、最高の戒律です。国内法では、殺人は罪になります。しかし、一度、国境を越えると、殺人が正当化され、英雄まで出てくるのです。これは大いなる矛盾です。よその国の人々は、人間ではないのです。

8月16日の「朝日新聞・65年目の遺言」に元日本兵の近藤一さん(90歳)の話が載っておりました。1940年に召集され、中国に送られ、「立ち木に縛った中国人の刺殺訓練」「討伐作戦中の中国女性の輪姦・子殺し」「中国人を並べての銃の試し打ち」等が語られていました。戦争は、普通の人間を、殺人に抵抗のない人間に仕立ててしまうのです。

およそ200年前にドイツの哲学者イマヌエル・カントが、「永遠平和のために」という平和論、軍縮や、国民の参画協働による共和制、そして世界共和国を提案しています。それは、第2次世界大戦後の「国際連合」の理念の基礎になっているということです。

殺人という人間がやってはならない最高の戒律になっていることを、地球全体に及ぼそうという試みです。そして、この国際連合憲章の起草に、50人のロータリアンが関わったということは、ロータリーの誇りにして良いことだと思います。

そして、未だそうならない地球社会の中で、永久平和への努力を、ロータリアンは果たしていかなければならないと思います。

最後に、紛争解決、戦争回避のおもしろい話を紹介します。

アフリカのコンゴに、チンパンジーの一種、ボノボという種族が生存しています。群れを成して暮らしていますが、群れと群れとがそのテリトリーを巡って、敵対し暴力に満ちた衝突が始まろうとします。その時、メスのボノボは、対立する群れに駆け寄って、オスや他のメスと性行為・セックスを始めるというのです。性行為と戦争を同時に行うことができないので、その場は、たちまちにピクニック状態になってしまいます。最後は違う群れの大人同士が互いに愛情表現であるグルーミング(毛づくろい)をし、子供達が一緒に遊ぶ形で衝突は終息する。これは、仲間になるということだと思えます。本年度の「Bridging Continents」という RI テーマは、そのことの狙いだらうと思うところです。

◇幹事報告◇

幹事報告

1以下の文書を受領いたしました。

- ①上田 RC50 年の歩み記念誌
- ②上田西 RC11/6・7 地区大会の案内(全員登録です)
- ③米山梅吉記念館 9/18 秋季例祭の案内 田中毅

■ニコニコ BOX

24名	32,676円
累計	232,676円
目標額	130万円
達成率	17.8%

■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	27名
出席率	77.1%
前回修正	91.4%

■今週のことば

ガバナーエレクトも決まり渡辺ガバナー補佐もようやく解放されたかも?御苦労さまでした。

■次回のプログラム

8月23日
3クラブ合同例会



氏の講演会もあり。詳細は国際奉仕委員会へ

- ③ ローターリー財団への寄付集計がメール配布あり。詳細は国際奉仕委員会へ
- ④ 小林聖仁会員から機関紙(法縁)の提供があり。

2. 連絡事項

- ① 上田六文銭 RC10/9・10 ライラの案内が HP に掲載されてます。協賛金と参加 2 名登録を行ないます。詳細は新世代活動委員会へ
- ② 羽吹会員の事業所電話・fax 番号変更
- ③ 本日配布のウィークリー記載 2012-2013 年度 RI 会長(八潮 RC 田中作次氏)2011-2012 年度 2600 地区ガバナー・エレク(塩尻 RC 都筑文男氏)
- ④ 8/23(月)例会は夜間 3 クラブ合同例会です。(26 名の参加登録)

総会 第 25 期 決算報告

吉沢会計から、決算報告がなされ満場一致で議決されました。会計報告書は、ホームページをご覧ください

監査報告 蒲地監査
会計処理につきましては整



然かつ正確に処理されておりました小松会員亡き後、会計の吉沢会員は大変だったと思います。本当にご苦労様でした。

クラブ内で会計処理を行うようになってから、かなりの年数がたちますが、クラブの中に会計に精通したプロが 3 人が必要であると感じています。そうした体制作りも課題と思います。

1186回例会報告 会員増強について

職業奉仕委員長 大沢邦彦

「何故会員を増やすのですか?」「何故必要なのですか?」の問いにロータリアンはどう答えますか。

同じ目的を持った仲間は、当然多い方がよい。また、共有する目標や理念を持った仲間の活動は、熱意と行動力があり、より秀れた集団となり得ます。ただ時が経つと集団組織が形骸化し、一部の人によって片寄った運営がされたり、停滞することがありますが、そうした時、新会員によって組織が活性化されます。

その組織が常に活性化し継続する為には、会員が共有する目的や理念が明確であり、魅力的なものでなければなりません。

ロータリーのかかげる目的や理念はなんですか。それは研鑽と奉仕であります。

研鑽は自分の事業を健全に経営していく為の研鑽です。利己的な欲求と義務に相対する他人の為に奉仕したいという感情との間には、常に矛盾をはらみます。そしてその矛盾を和らげようとするものが「超私の奉仕」の実践であります。

この理念を共有する仲間を増やす努力をしなくてはなりません。

綿貫ガバナーは「魅力と誇りを持った日常があってこそロータリアンです。共に磨き会える資格のある会員を増やし、他人の為にも自分の為にも喜びを生み出すロータリーでありたい。」と語っています。共に磨きあえる仲間を積極的に増やそうではありませんか。

飛躍的な会員増強をめざして

山崎勝彦会員

1996年11月末から2009年5月末までの間に

35,804人の退会者があり13年連続減少しているのが日本のロータリーの現状です。この減少傾向は



社会情勢などからまだまだやむ気配はありません。

しかし、ロータリーの100年あまりに及ぶ社会貢献、奉仕の理想はゆるぎなく、将来も援助を必要とされる期待に応えるべきで、私たちが果たせる役割は無限大ではないでしょうか。一人ひとりの力は微力でもみんなの力がひとつになれば限りないパワーを生みま

諏訪湖ロータリークラブ
第25期 一般会計 決算書 2010年6月30日

収入の部				収入合計	
科目	予算額	決算額	摘要	11,067,974	
会費	6,808,000	6,440,000	37×184,000	9,286,802	
人会金	20,000	0	10,000×2	0	
ビクター会費	20,000	21,100		0	
米山奨学基金地区より	40,000	40,000		1,781,172	
雑収入	2,000	285,883			
ニコニコBOXより繰入	1,350,000	1,166,694			
前期繰越金	2,500,000	3,114,297			
合計	10,740,000	11,067,974			
通帳残額				№1033565	
				2010/7/2	1,781,172

支出の部				支出合計	
科目	予算額	決算額	摘要	9,286,802 <th></th>	
1 分相金	1,524,400	1,474,506			
1 分相金	347,800	331,106			
内訳分相金	177,600	168,716	37×\$48×100円		
ロータリー財団寄付	20,000	85,100	37×\$25×100円		
チャレンジグラント ロータリー財団	74,000	74,000	37×2,000円		
規定審議委員負担金	3,700	3,290	37×\$1×100円		
全国関係	233,100	242,400			
ガバナー会運営協力金	7,400	7,200	37×200		
ロータリー文庫運営協力金	11,100	10,800	37×300		
米山奨学基金寄付金	111,000	111,000	37×3,000		
ロータリーの友議決料	103,600	113,400	45部×2,800		
地区関係	906,500	864,000			
地区資金	758,500	720,000	37×20,500		
ガバナー月債	148,000	144,000	37×4,000		
災害義援基金	0	0			
グループ関係	37,000	37,000			
ガバナー補佐負担金	37,000	37,000	37×1,000		
2 事業費	3,743,000	2,993,399			
クラブ奉仕委員会	1,410,000	1,161,449			
出版ニコニコボックス関係	100,000	69,830			
親睦活動関係	990,000	675,854			
クラブ合同例会	80,000	136,520			
大澤中央文化交流会	200,000	259,249			
プログラム関係	40,000	0			
職業奉仕委員会	140,000	39,423			
職業奉仕関係	70,000	29,423			
ロータリー情報関係	50,000	0			
会員増強職業分類関係	20,000	10,000			
社会奉仕委員会	400,000	144,482			
社会奉仕関係	200,000	111,482			
諏訪湖浄化関係	200,000	33,000			
国際奉仕財団米山委員会	760,000	904,277			
国際奉仕財団米山関係	760,000	904,277			
新世代活動委員会	340,000	92,850			
SAA	3,000	0			
クラブ会報委員会	690,000	650,888			
3 運営費	5,310,000	4,818,887			
事務局費	500,000	462,723			
総務費	1,300,000	1,281,302			
交際費	100,000	60,000			
旅費交通費	50,000	22,000			
事務消耗品費	20,000	9,861			
備品費	30,000	35,000			
雑費	30,000	32,550			
登録料	600,000	640,492			
開会費	2,680,000	2,274,969	37名×4800円+1,700円×1.65		
4 学費	162,600				
5 その他の支出					
合計	10,740,000	9,286,802			

す。その力を会員増強に向けてほしいと思います。多少視野を広げて皆さんの友人、各地の知人、信頼できる取引先などそこには多数の潜在的ロータリアンがいます。こうした人々は、長年の友人、信頼できる人々であり、将来のロータリアンにふさわしい人材です。

ロータリーの最大の魅力は、異業種交流であるとするなら、メンバーからのご紹介は真に有益で人々を勇気つけます。会員増強は、今日、私たちが直面している大きな課題であります。

現在の世界的な経済情勢によって引き起こされた困難と同じく簡単には解決できるものではないのかもしれませんが。しかし何事もなにもしなければ何も動くことはありません。どうか皆さんの会員増強の熱意温度計、関心温度計をどんどん高めて行動に移して頂きたいと思えます。

会員増強について

会長 長崎政直

諏訪湖クラブの会員数の動向を見ると、30名で創立し、15期まで順調に会員数を伸ばし、60名前後で推移していました。15期から20期までの間に、59名から41名に減少し、20期以降も、37名、今期35名と減少を重ねています。



加えて、このまま、現有会員だけで進んでまいりますと、25期には54歳以下の会員が8名いたのが、30期には4名となり、35期には1名となります。そして、70歳以上の会員は、25期7名が、30期には16名、35期には24名と、超高齢化が進むことになり、会の活動に少なからず差しさわりが出、会の維持も困難になりそうです。ですから会員増強が必要なのです。

若い会員から、

「ロータリークラブって、何をする団体ですか？そこがわからないから、入会を勧めることが覚束ない」という意見がありました。

たしかに、何をしたいのかわからないで、人に勧めることはできません。

「入会してロータリーで活動していれば、そのうちにわかるよ」これだけでは、説得力がありません。

それでは、「自己研鑽と社会奉仕をするところですよ」という答えではどうでしょうか。当然「具体的には、どん

なことをするのですか？」という問いが続きます。

「自己研鑽では、職業奉仕理念を、それぞれの仕事や生き方に適応して、豊かな人生を歩むことです。「社会奉仕は、地域社会から国際社会の課題に対して、個人でもクラブでも貢献する。その課題は、諏訪湖浄化であったり、社会福祉であったり、青少年育成であったり、セブ島支援だったりです。加えて、奉仕をする同士が多いことは、人力、資金力をアップさせ、奉仕の質や量を増加させます。また、信頼、寛容、善意に満ちた友情・親睦の質と量をも増加させます。」

次に、もっと手強い質問が、飛んできます。

「諏訪湖ロータリークラブは、自己研鑽、社会奉仕において、なるほどと思わせる成果を上げていますか？」ここで、返答に窮してしまいます。

「満足するほどに、成果があがっているかはわかりません。しかし、しかし、です。・・・成果は与えられるものではありません。創りだすものなのです。だからこそ、あなたの力が欲しいのです。私たちの仲間になって、様々な奉仕活動を通してよりよい社会をつくっていきましょう。それぞれの職業を、真実で、みんなに公平で、好意と友情を深める、人のためになる品位あるものに高めていきましょう。あなたの新しい力が欲しいのです。」これが決めゼリフかと思っています。決めゼリフと思いながら、ニヤリとしたり、苦笑いを隠せません。これが、前回お話しした、「嘘はないか」という不安です。

さて、最後に、私にとってロータリーってなんなのかと申しますと、社会貢献への一つの通路ですし、前回の会員セミナーでお話いただいた皆さん同様、多くの友人を得る場でしたし、自分磨きの場でもありました。私も少しはまな人間になっているだろうと思っています。

心が疲れて、くじけそうになった時、そんな話をする、慰められたり、励まされたり、笑われたりしながら、けっこう楽しく23年間過ごすことができました。「ロータリーで活動をしていれば、そのうちにわかるよ」という話は、ここらあたりにあるのかもしれないと思うこの頃です。ロータリークラブを退会された方々を含め、会員の皆さんに深く感謝をするところです。

最後に、新しい会員の勧誘は、それぞれの会員の皆さんが、ロータリーに入って、何かしら満足しているそのことを語って、お勧めするのが、きっと説得力ある勧誘になるだろうと思っています。

会員増強、退会防止委員会アンケート報告 昨年度実施

会員増強、退会防止のためのあなたの役割は 何でしょうか？

- 高齢者として健康を維持しなるべく長く活動に参加すること
- 私自身努力します
- 会員増強は今まで考えたことがなかった事を強く反省し、増強のことを考える
- 思いやる、相手の立場を考える
- クラブの会員であることに誇りを持ち、お互いの存在価値認め合い励ましあいを心がけたい
- 知人友人に呼びかけ、楽しい例会にする
- 積極的に活動をPRし、勧誘に努める
- 例会等で積極的に人間関係をつくる
- 知人の勧誘、事業に積極的に参加する
- 自ら退会せずに頑張ること
- 実動部として頑張る、会員増強のために動く
- クラブが楽しいところで楽しい仲間がいること、そのことに心がける
- 意欲、意識を強く持つことそして維持すること
- 例会に出席し会員の交流を計る
- 高額な会費、その他の出費が増える中、若い有能な人材を得るの様難しい

この役割におけるあなたの責務は？

- 不況の中自分が心配
- 全会員均等な役割を認識する
- 新入会員を指導できる、やりたいことを聞ける
- 年齢的に若い会員勧誘は無理、ただ努力はする
- 出席率アップ
- 会員の一人として責任をもって増員につとめること
- クラブの雰囲気をよくするため会員間の会話の勤める
- 一会員として取り組む
- 会の意義づくりに勤める
- 一人でも多く人に会う
- 機会あるごとに勧誘し可能性のある場合は推薦する
- 出席者が気持ちよく出席できるよう配慮しています

どのように新会員を探し出し勧誘できますか

- 現在の不景気では困難
- 友人関係
- 学校関係、スポーツ団体
- 40～50代の会員を勧誘したい。)他人のためになる

行動は生きる喜びだと説いて入会を勧めたい

- 所属参加している団体のふさわしい人を見つける
- RCはいいよとはなしつづける
- 若い人、女性会員
- 人を見たらRCには行ってほしい人か考える
- 商工会議所等他団体で
- 自分がRCの正しい知識を勉強する、知識が高まれば勧誘の方法を考えつくかも

会員維持率を高めるには？

- 教育の重要性
- 例会が楽しくないと
- 目安箱的なもので意見を聞く
- 行事に出席して顔をあわせる
- 多様な意見や価値観に対応できるクラブとなるように心がけること
- 会員間の信頼関係を大切にして活動すること
- 話し合い、思いやり
- 例会での時間を大切にしたい、一人でも多くの人に声をかける心がけが大切
- 情報提供

委員が効果的に委員会で活動できるようどのように援助することができますか。

- 委員が自由に発言できる環境づくり
- 分業をする。一人に集約しない
- 先輩の委員会での話し
- 委員会への所属意識を持ち続ける。お互いの立場を理解しつつ委員会運営を進める。委員長は足は引っ張らない
- 委員会を多く開く
- 委員長の姿勢が大切
- 自らが進んで行動すること、RC理念を共有する仲間を増やすことは大切
- 助け合うことが大切、仲間に優しくすることが大切
- 頼まれたことはやろうと思いはじめている
- 積極的に話し合うよう役員が進めていくべき

長期目標または年度目標をお願いします。

数多くの目標をいただきました